

一般社団法人室内環境学会 2024 年度 第 1 回通常理事会議事録

日 時：2023 年 11 月 13 日（月）16:00～18:30

場 所：事務局会議室／オンライン会議室

出席者

理事：東賢一（理事長）、中島大介、鍵直樹、橋本一浩（事務局長）、小栗朋子（会計）、三宅祐一、高木麻衣、森田洋、柳宇、萬羽郁子、篠原直秀、徳村雅弘、嶋崎典子
事務局：野村佳緒里、色摩操
監事：湯懷鵬、齊藤智
オブザーバー：佐藤博

本理事会は総理事数 13 名全員が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は東理事長が務めた。

議事次第：

1. 2023 年度第 2 回通常理事会議事録 → 承認された。

2. 2023 年度委員会活動報告および 2024 年度委員会活動計画

学術委員会：高木委員長より、微粒子分科会、微生物分科会、化学物質分科会、環境過敏症分科会、車室内環境分科会の活動報告が説明された。各分科会ともセミナーや勉強会などが活発に行われたとのこと。また、2024 年度の活動計画も併せて説明があり、各分科会とも例年通りセミナーや調査・研究を計画しているとのこと。

東北支部：放射線実測調査の一環として、福島第一原子力発電所を視察し、事故後の復興と再建について説明を受けた。また、給気口用フィルターろ材の微粒子捕集性能について実測調査を行った。24 年度も調査研究を実施し、セミナーや勉強会などを企画したい（東理事長）

関西支部：日本建築学会近畿支部空気環境部会との合同で研修会を開催した。24 年度もセミナーを開催する予定（東理事長）

社会連携委員会の活動報告書、広報委員会の活動計画書については、前回理事会での提出資料に軽微な修正があったとのことで、それぞれの委員長から説明があった（他の委員会・WG は前回理事会で報告・承認済み）。

3. 2023 年度決算報告

東理事長より 2023 年度第 11 期会計決算が報告された。約 100 万円弱の収支プラスであり、学術大会の収益および講演会・セミナーの収益が予算よりも大幅増であったことが要因と説明された。また、監事からの指摘により、従来は大会長が保管していた学術大会の会計書類について、今後は事務局で保管することになったと報告された。

4. 2023 年度予算案の修正

前回の理事会にて承認された 2024 年度予算案について、一部修正する案が東理事長より示された。書籍「室内環境の事典」の印税収入が当初の報告よりも増額されたため、また、HP の改修（https 化）により経費が発生することになったためと説明された。2024 年度予算案の修正は承認された。

5. 広報委員会の報告

萬羽委員長より、学会 HP のセキュリティ強化のため https 化を行ったところ、ドメインが変更となってしまったため、従来ドメイン www.siej.org を使用するためのオプションを契約したと報告された。

また、今年度の学会紹介用チラシのデザインが紹介された。

6. 表彰制度の新設

篠原表彰委員長から、「一般社団法人室内環境学会賞 表彰基本規程」の案が示され、新たに学会賞・学術賞・研究奨励賞を新設すると報告された。基本規程では表彰制度の全体像を整理し、それぞれの賞の選考方法等については、別途、内規を定めるとのこと。併せて各賞の内規案も示された。また、論文賞と大会長奨励賞の規程は廃止し、新たに内規として整理し直すとのこと。新設される賞は 2024 年の総会で表彰することを目標として準備を進めていく。

7. 学術大会マニュアルの更新

萬羽理事より、学術大会マニュアルの更新について報告があった。現状の開催状況に合わせ細部の記載変更を行い、参加費・懇親会費の徴収の目安を整理し直したとのこと。また、従来は大会長が保管していた学術大会の会計書類について、今後は事務局で保管することに決定したため、この旨を追記し、次年度大会長へ引き継ぐこととなった。

8. 2023 年度室内環境学会査読者賞

森田出版委員長より査読者賞の受賞者（徳村雅弘会員、一條佑介会員）について報告があった。本件は評議員へ諮問し、異論が無いことを確認済みのため、東理事長によって決定された。

9. 2023 年度室内環境学会賞・論文賞

東理事長より、「クロルピリホス脱塩素化オキソン体の不可逆的神経毒性指標に関する研究」（船水純那ら、26(1): 3-14) を 2023 年度室内環境学会賞・論文賞の候補に決定したと報告された。本件は現在、評議員会にて諮問中。

10. 2023 年室内環境学会学術大会

徳村大会長より 2023 年学術大会の準備状況が説明された。演題登録数は口頭発表 84 題、ポスター発表 70 題、機器展示企業は 20 社の申し込みがあり、収支黒字の見込み。発表演題数が多くなったため、1 演題あたりの発表時間を従来の 15 分から 12 分に短縮（発表 9 分・質疑 3 分）することが決定された。また、懇親会を 4 年ぶりに開催するとのことで、懇親会場が紹介された。

11. 2024 年室内環境学会学術大会

東理事長より、2024 年室内環境学会学術大会の準備状況について報告があった。11 月 29 日（金）～11 月 30 日（土）に北海道大学（大会長：林基哉正会員）で開催予定と説明された。

12. 新規入会者の承認

事務局より 2023 年 9 月～10 月の入会承認者 11 名（正会員 3 名、学生会員 8 名）のリストが報告された。また、最近の入会希望者 3 名（正会員 1 名、学生会員 2 名）のリストが示され承認された。

13. その他

- ・吉田精作先生が名誉会員に推戴された。

以上

署名欄

東 賢一

印

中島大介

印

鍵 直樹

印

橋本一浩

印

小栗朋子

印

高木麻衣

印

三宅祐一

印

森田 洋

印

柳 宇

印

篠原直秀

印

萬羽郁子

印

徳村雅弘

印

嶋崎典子

印